

7. 所信

岡山県医師会副会長候補者

松山 正春

私は、平成 22 年 4 月にはじめて岡山県医師会理事に就任しました。井戸執行部の一員として会務に励んできましたが、おりしも平成 23 年 3 月 11 日に起こった東日本大震災に際しては、「JMAT おかやま」の派遣を担当しました。石巻市で 102 日間にわたる医療救護活動でしたが、わが身を顧みずこの活動に参加していただいた先生方のプロフェッショナルオートノミーに感激し、医師会の底力を強く認識しました。

2 期目はやや常軌を逸した県医師会運営が行われましたが、私は、会員のベネフィットを常に考えながら主張を繰り返しました。幸い、会員の先生方からのご支援をいただき、普通の医師会に戻ることができました。この件を通じて、私は医師会の存在の意義、役員 の 資 質、会 務 の 運 営 等 に つ い て の 教 訓 を 得 ま し た。

3・4 期の石川体制では、新会館の建設に全役員が一つの目標に向かって邁進しました。役員 の 心 が 一 つ に な っ た 医 師 会 で あ っ た か ら こ そ 「おとぎの国の会館」が出来上がったと考えています。医師会のすごさは、ちゃぶ台を返す理事がいる一方で落としどころをわきまえているところだとしみじみと感じさせられました。

今回は、副会長候補として立候補しました。4 期 6 年余の経験をもとに、岡山県医師会のあり方、会務の運営についてそろそろ変化が必要ではないかと考えています。小さな政府により、現在、実施されている事業の再評価を行い、合理的かつ効率的な会務運営を目指します。